

2009年度合同シンポジウム
「生命現象の分子レベルでの解明」

共 催：日本生化学会北海道支部
日本生物物理学会北海道支部
北海道分子生物研究会

日 時： 2009年11月13日(金) 13:00～17:00
場 所： 北海道大学大学院理学研究科 5号館大講義室

1. 南保明日香 (北大院・薬学研究院)
「エボラウイルスの宿主細胞への侵入機構の解明」
2. 佐々 貴之 (北大院・薬学研究院)
「大脳皮質の神経細胞移動と層形成における
クラスIIIホスファチジルイノシトール 3-キナーゼの役割」
3. 豊田 実 (札医大院・医学研究科)
「癌におけるDNAメチル化異常とRNA干渉」
4. 牧野 雄一 (旭川医大内科学講座 病態代謝内科)
「低酸素応答性転写因子による生体機能調節機構」
5. 田中 良和 (北大・創成)
「黄色ブドウ球菌由来巨大蛋白質Ebhの全体構造に関する考察」
6. 永井 健治 (北大・電子研)
「Toward understanding biological phenomena by
genetically-encoded molecular spies」

シンポジウム終了後、演者の先生を囲んで懇親会を予定していますので、
奮ってご参加ください。会場：理学研究院・理学部5号館301号室
時間：17:00～19:00 会費：一般1000円、学生500円

世話人： 大場 雄介 (北大院・医学研究科)
坂井 直樹 (北大院・先端生命)
米田 宏 (北大院・薬学研究院)
連絡先： 大場 雄介 電話：011-706-5158
e-mail: yohba@med.hokudai.ac.jp